

平成18年9月中間期 決算説明資料



Listed Company 6488



平成18年9月中間期 決算概要

平成18年9月中間期の総括



売上高 増収となりました。

1. 素材価格の高騰に対応するため販売価格の改訂
2. 堅調な民間設備投資の影響
3. 積極的な提案型営業の推進
4. 新たな子会社の取得 (カワキ計測工業株)



経常利益 :微増となりました。

増加要因

- 1 .好調な売上高
- 2 .順調に推移している関係会社

阻害要因

- 1 .高騰、高止まりしている素材価格
- 2 .新たに取得した子会社の「のれん」償却

平成18年9月期の中間連結貸借対照表



(単位:千円)

	前中間期	当中間期	増減額
流動資産	3,674,408	4,352,272	677,864
有形固定資産	1,661,438	1,744,258	82,820
無形固定資産	10,603	168,211	157,608
投資その他資産	2,676,959	2,269,012	407,947
固定資産	4,349,002	4,181,481	167,521
資産合計	8,023,410	8,533,754	510,344
流動負債	1,403,518	1,365,215	38,303
固定負債	421,894	473,274	51,380
負債合計	1,825,412	1,838,489	13,077
純資産合計	6,197,998	6,695,264	497,266
負債純資産合計	8,023,410	8,533,754	510,344

平成18年9月期の中間連結貸借対照表の 主な変動要因



流動資産：

投資有価証券売却（償還）による現預金増加

無形固定資産：

子会社取得により「のれん」を計上したことによる増加

投資その他の資産：

提携先の有価証券を約定通り償還したことによる減少

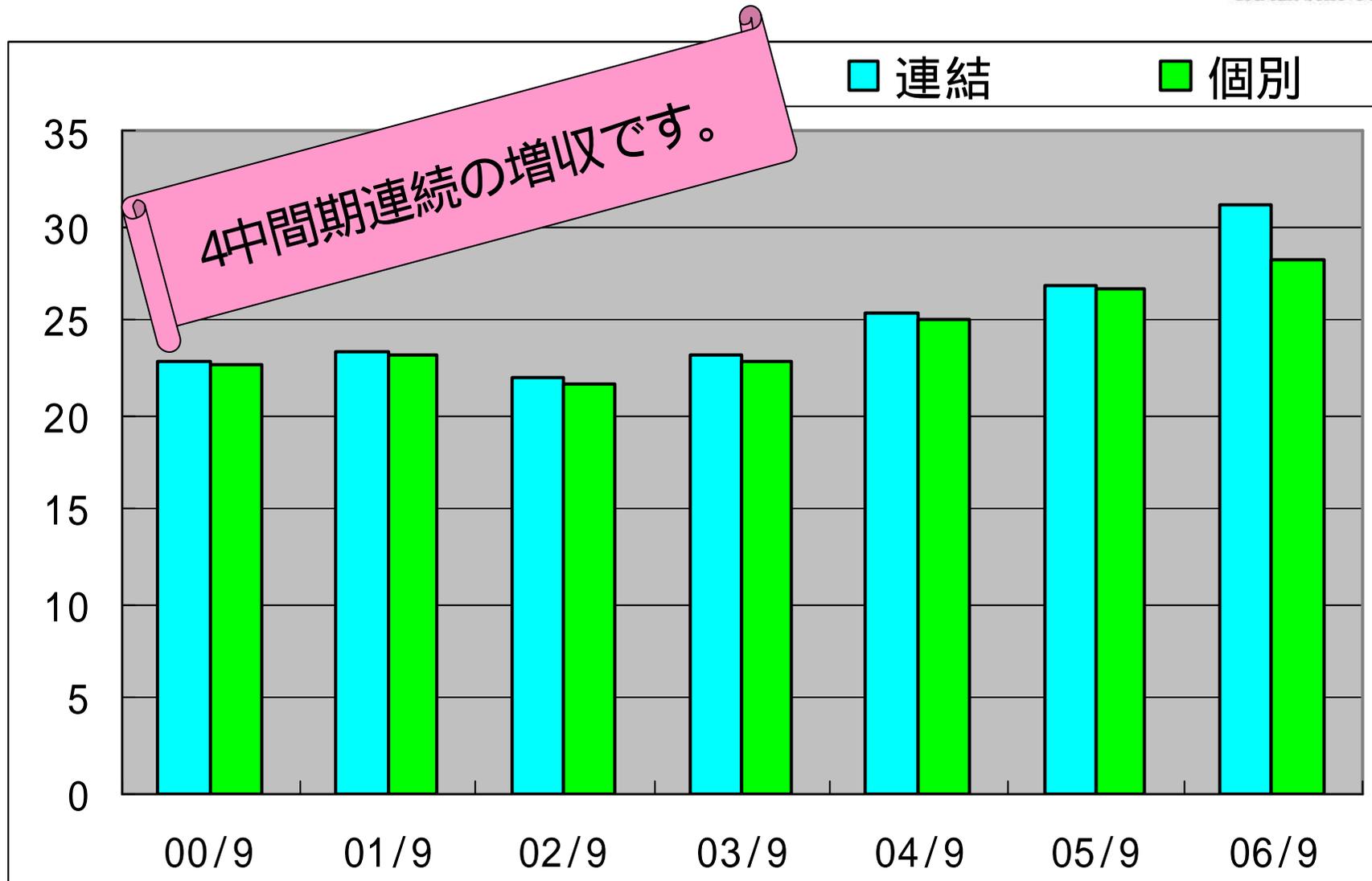
平成18年9月期の中間連結損益計算書



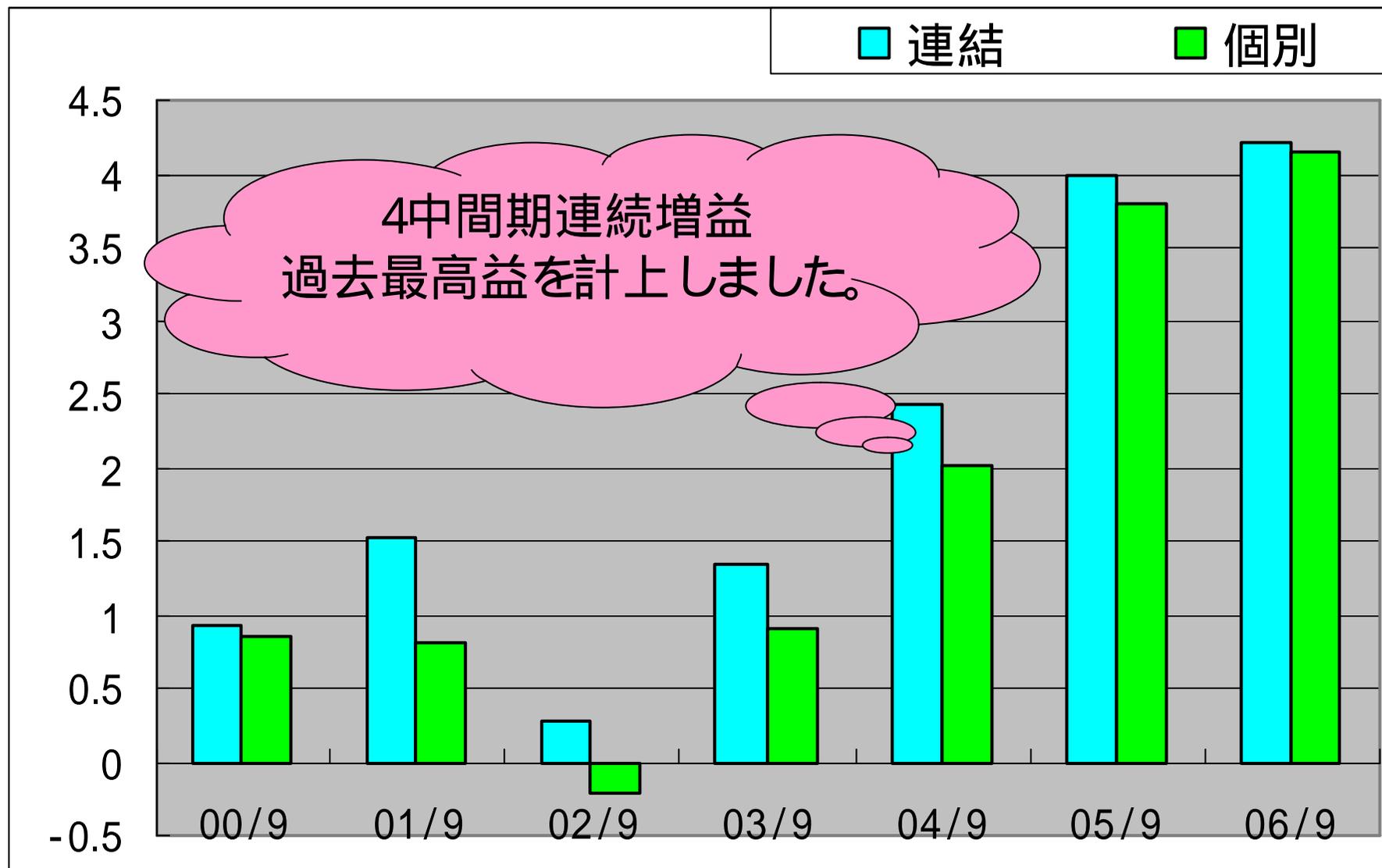
(単位:千円)

	前中間期	当中間期	増減額
売上高	2,696,832	3,109,854	413,022
売上原価	1,507,188	1,783,353	276,165
売上総利益	1,189,644	1,326,501	136,857
販売費及び一般管理費	892,568	1,011,063	118,495
営業利益	297,076	315,437	18,361
営業外収益合計	121,106	117,335	3,771
営業外費用合計	19,986	11,259	8,727
経常利益	398,195	421,513	23,318
特別利益合計	33,218	1,900	31,318
特別損失合計	2,686	9,804	7,118
税金等調整前中間純利益	428,727	413,609	15,118
法人税、住民税及び事業税	165,000	133,841	31,159
法人税等調整額	6,743	34,891	28,148
中間純利益	256,984	244,876	12,108

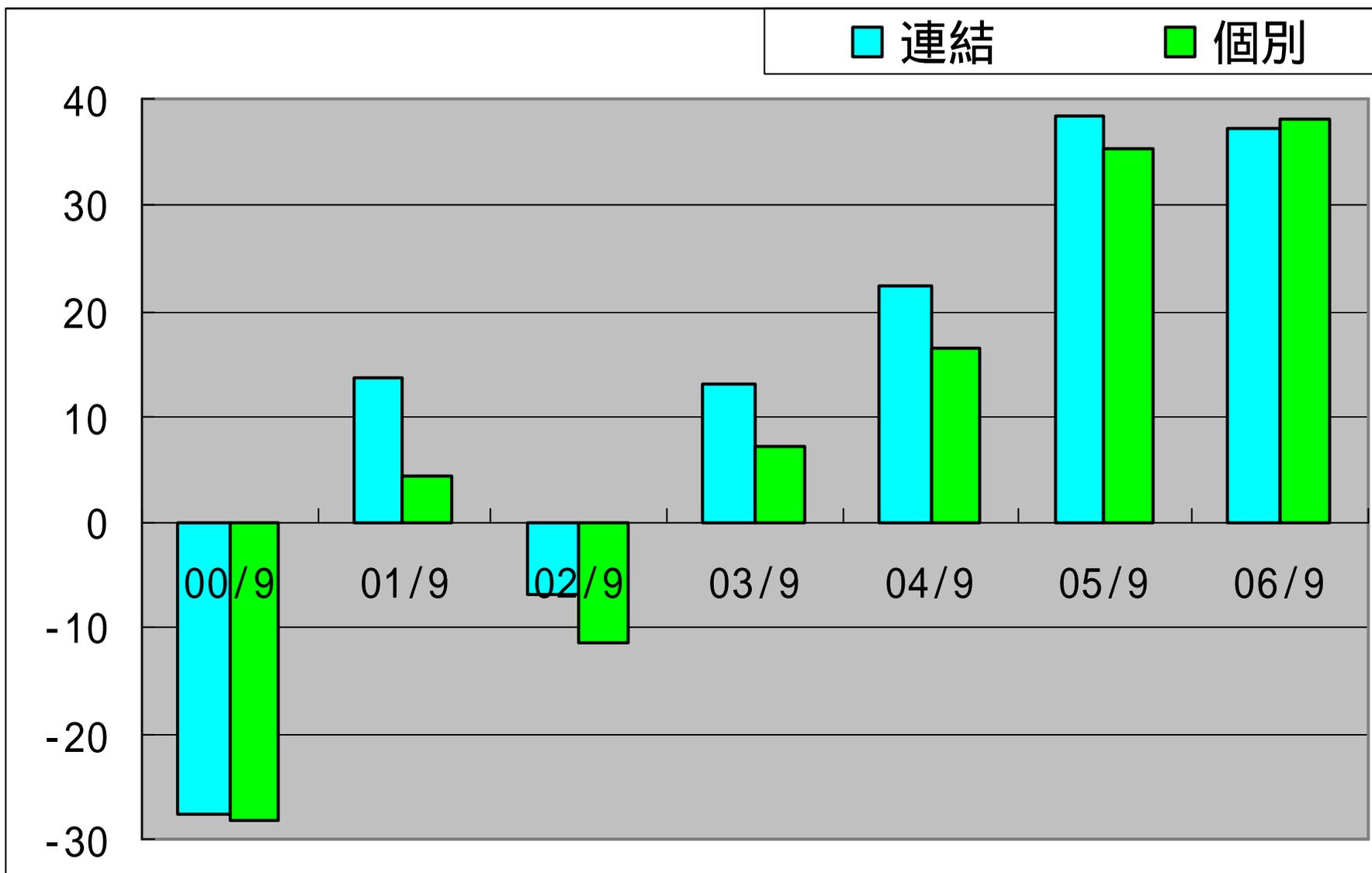
売上高の推移



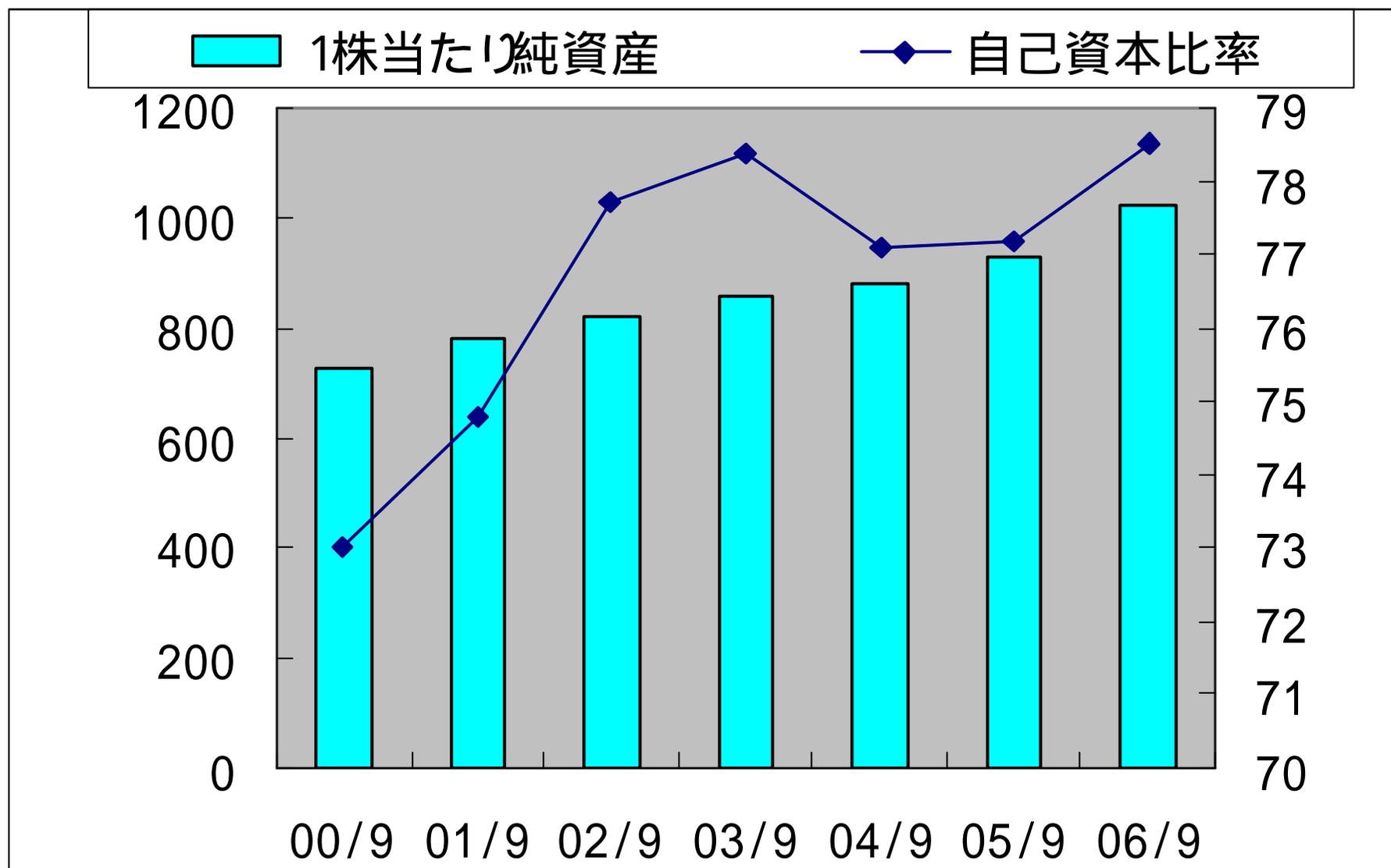
経常利益の推移



1株当たりの中間純利益の推移



1株当たり純資産 (連結) の推移





平成19年3月期 業績予想

平成19年3月期業績予想



(単位:千円)

	前期	今期予想	増減額
売上高	5,482,462	6,160,000	677,538
営業利益	600,908	630,000	29,092
経常利益	840,439	850,000	9,561
税金等調整前当期純利益	873,170	850,000	23,170
当期純利益	577,387	540,000	37,387

平成19年3月期業績予想の概要



おおむね予想通り順調に推移しています。

連結売上高 :以下のとおり増収を予想しています。

民間設備投資の好調持続による売上増加
子会社取得による売上増加
価格改定による単価上昇

経常利益 :売上高は増加しますが、以下のとおり今期比微増を予想しています。

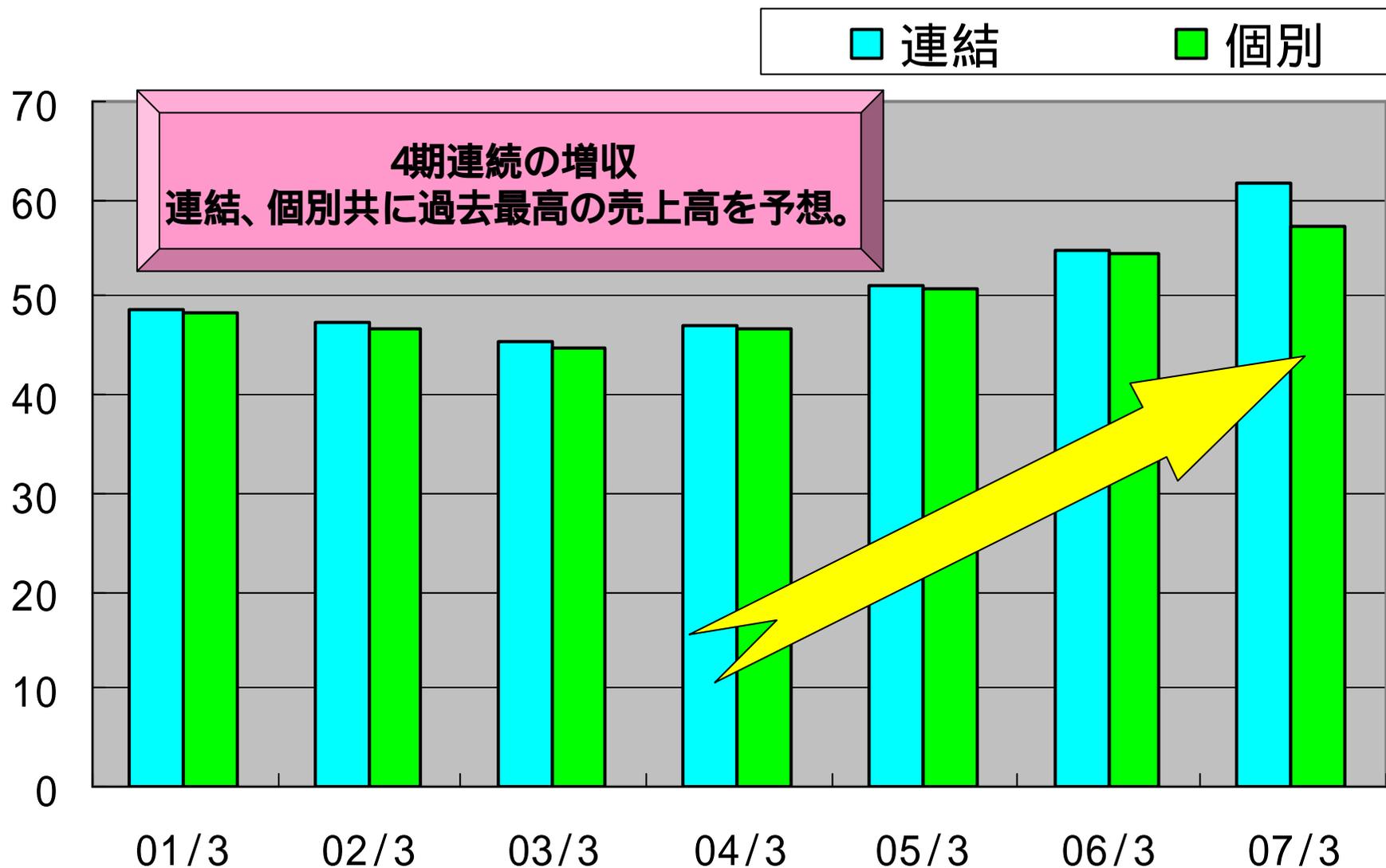
素材価格の急激な高騰、高止まり

取得した子会社の投資差額 (のれん) の償却額計上 (5年償却を予定)

当期純利益 :上記に加え、以下のとおり今期比微減を予想しています。

今期は特別利益 (貸倒引当金戻入益) を計上しましたが、来期は予定していません。

売上高の推移



中期 7年計画について



2005年4月に中長期7年計画を策定いたしました。
これは当社が今後も長期的で持続的な成長を続けられるよう目指すものであります。

この計画の骨子としましては次の4点を基本としております。

- 1.新製品開発
- 2.市場占有率の向上
- 3.海外市場での販路拡大
- 4.社内教育体制の強化

おおむね順調に推移しております。



企業理念

フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor